

「自まんの東野学区」

広島市立東野小学校 沖西 啓子

はじめに：本校は開校2年目の新しい学校です。今年度より、クラブ活動の一つに社会科クラブを発足し、9名の部員で活動しています。本作品は、広島県内の児童・生徒を対象とした「地図・ならびに地理作品展」に応募し、地図協会賞をいただいたものです。

作品について：本作品は、児童2人が、クラブ活動の時間や休憩時間に作製し、夏休みにも何度か学校に集まってようやく完成しました。地図作りは初めてだったので、何をテーマに作ればいいのか、またどのようにまとめていけばよいかを非常に悩んでいましたが、やり始めると2人が協力して地図の作製に全力投球していました。

デジタルカメラの写真に頼らず、手描きのよさを前面に出したところがこの作品の一番のセールスポイントです。ていねいに色分けをしたり、マークをそろえたりして統一感を出しています。本校学区のことを知らない人でも、この地図を見てもらえれば、川に囲まれていて、古くからある寺と近代的なマンションが共存している地域であることが理解していただけると思います。

終わりに：初めての社会科クラブ、そして初めての作品展応募で名誉ある賞をいただき、作製し

た2人の根気と努力を賞賛したいと思います。これを励みに、2人には一層地図に興味を持ってほしいと期待するとともに、他の子どもたちにも地図作製の楽しさを伝え、地図に対する関心も高めたいと思います。

作成者の話：広島市立東野小学校5年
宇根本 和樹・加藤 武

ぼくたちは、東野学区の自まんできるところを調べました。地図を作製するときに工夫したところは、自まんできるところを拡大して詳しく描いたり、説明文をつけたり、コンビニは赤色、スーパーはピンク色など見てわかりやすいようにしたりしたところです。また、古代から現代までの太田川の変化や安芸大橋の今と昔の絵をつけ加えたり、道路を細かく描いたりしました。この地図を作製して、いろいろわかったことがあります。今の光輪幼稚園の場所に東原尋常小学校があったことや、善教寺が500年前、浄玄寺が450年前からあったことには大変驚きました。ぼくたちは、この東野学区を調べて、他の場所も調べてみたくなりました。